

Roundabout

【写真：滋賀県守山市　立田町ラウンドアバウト（平成２６年供用開始）】

全国ラウンドアバウト普及促進協議会

令和８年(2026 年)9 月

会　長　挨　拶

平成 26 年９月１日に改正された道路交通法が施行され、ラウンドアバウトが“**環状交差点**”として位置付けられました。その後、同年９月 26 日にラウンドアバウトの整備などに取り組んでいる全国の８自治体により、「ラウンドアバウト普及促進協議会」を設立し、令和７年(2025 年)9 月現在では 16 自治体によりラウンドアバウトの普及促進に資する活動を行っています。

令和７年７月には、日本全国への普及加速のため本協議会名を「全国ラウンドアバウト普及促進協議会」に変更しました。

ラウンドアバウトは、「交通事故を抑制する」、「信号の待ち時間の減少」、「環境に優しい」、「災害に強い」、「まちのシンボルとなる」など多くのメリットがあります。

協議会に加入している自治体では、ラウンドアバウトのメリットを活用した「安全・安心で魅力的なまちづくり」に取り組んでいるところではありますが、国内におけるラウンドアバウトの取り組みはまだまだ初動期の段階であり、ラウンドアバウトに関する技術や予算にかかる情報交換や、その有効性の発信が重要です。

当協議会は、このような活動にご賛同いただく自治体とともに、全国にラウンドアバウトの輪を広げるよう活動を展開してまいります。



全国ラウンドアバウト普及促進協議会

会長　森中　高史　（滋賀県　守山市長）

設　立　趣　旨

欧米などで交通事故の減少などの導入効果が報告されているラウンドアバウトは、平成 25 年６月に道路交通法が改正され、日本でも環状交差点として位置付けられ、本格的な整備が期待されるところであります。

このようなことから、趣旨に賛同する自治体が結束し、様々な知見を持つ学識経験者の皆さまと整備事例・課題・効果の共有を図りながら、その有効性の発信を行なうことを目的に平成 26 年９月 26 日に本協議会を設立いたしました。

ラウンドアバウトとは？

ラウンドアバウトは、交差点の中央に円形地帯（中央島）が設けられた円形平面交差点の一種です。車両はこの中央島に沿った環状の道路（環道）を一方向に通行し、行き先の道路に流出します。環道を走行する車両に優先権があることが最大の特徴であり、環道の交通流は信号機や一時停止などにより、中断されません。

近年、欧米諸国では安全でエコな交差点の制御方式として、ラウンドアバウトが積極的に導入され、交通事故の減少などの効果が多数報告されています。

国内においても地域の自発的な取り組みとしてラウンドアバウトが整備され、導入に向けた社会実験が実施されるなど、その有効性が確認されつつあり、普及に向けてニーズが高まっている状況です。平成 26 年９月１日に、改正道路交通法が施行され、「環状交差点」としてラウンドアバウトの運用がスタートしました。

活動内容

平成 26 年
１月　ラウンドアバウト普及促進協議会設立準備会の開催
　　「ラウンドアバウトサミット in 飯田」の開催
９月 ラウンドアバウト普及促進協議会設立
　　警察庁、国土交通省への要望活動
11 月 「ラウンドアバウトサミット in 焼津」の開催

平成 27 年
５月　定期総会の開催、警察庁・国土交通省への要望活動
11 月「ラウンドアバウトサミット in 須坂」の開催

平成 28 年
５月　定期総会の開催、警察庁・国土交通省への要望活動
10 月「ラウンドアバウトサミット in 守山」の開催

平成 29 年
５月　定期総会の開催、警察庁・国土交通省への要望活動
７月　「ラウンドアバウトサミット in 安曇野」の開催

平成 30 年
５月　定期総会の開催、警察庁・国土交通省への要望活動
10 月　「ラウンドアバウトサミット in 軽井沢」の開催

令和元年（平成 31 年）
５月　定期総会の開催、警察庁・国土交通省への要望活動
11 月「ラウンドアバウトサミット in いとまん」の開催

令和２年
５月　定期総会の書面開催
11 月「ラウンドアバウトサミット in 一宮」の開催

令和３年
５月　定期総会の書面開催

令和４年
５月　定期総会の開催、警察庁・国土交通省への要望活動
10 月「ラウンドアバウトサミット in 長井」の開催

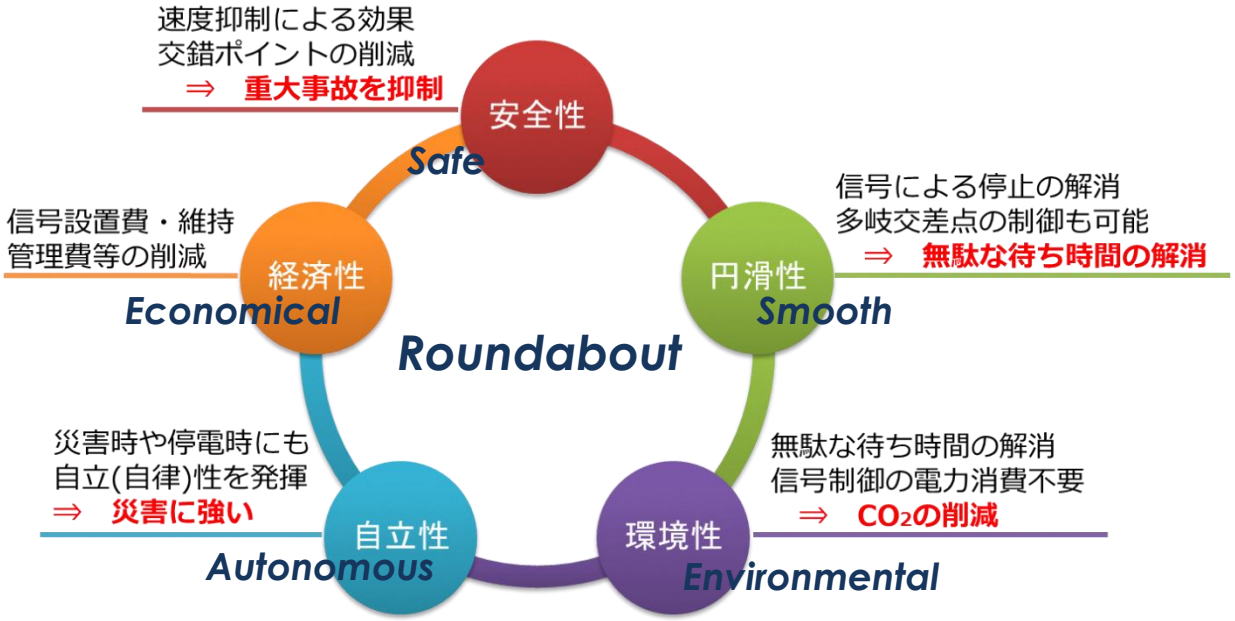
令和５年
５月　定期総会の開催、警察庁・国土交通省への要望活動

令和６年
４月　定期総会の開催、警察庁・国土交通省への要望活動
11 月「ラウンドアバウトサミット in 多治見」の開催

令和７年
５月　定期総会の開催、警察庁・国土交通省・総務省・
　　内閣府への要望活動
７月　全国ラウンドアバウト普及促進協議会に改称

令和８年
６月　定期総会の開催、警察庁・国土交通省への要望活動

ラウンドアバウトの導入効果



安全でエコなラウンドアバウトは、都市空間・道路空間の変化を示すシンボルにもなり、災害などによる信号停止時にも機能するメリットがあります。

ラウンドアバウトの幾何構造

中央島（ラウンドアバウトの中央部）



中央島が小さすぎると、交差点を走行する車が、直線的にショートカットしてしまいます。逆に大きすぎると環道が狭くなり走行性が悪くなります。
また、中央島内にモニュメント等を配置することで交差点のシンボルとしての活用が可能です。

分離島



ラウンドアバウトへの進入車両と流出車両を分離する施設。分離島が設置されることで、逆走防止や、環道の適正走行などの効果があります。



エプロン



環道と中央島の間に設置されたスペース。大型車は、環道のみでは内輪差により通行できないため、エプロンを利用して通行します。また、段差付きエプロンを設けることにより、交差点内の速度抑制や、環道の適正走行などの効果があります。

横断歩道



分離島に設けられた横断歩道においては、二段階横断が原則となり、歩行者にとっては、横断距離を短縮し、歩行者は車両接近側の一方向に対して安全確認をすれば済むことで、横断開始判断を容易にする効果があります。

参考
- 段差無し　栄環状交差点(一宮市)
- 段差 2cm　東和町交差点（飯田市）
- 段差 5cm　六本辻交差点（軽井沢町）、山の手環状交差点・下藤環状交差点（焼津市）、吾妻町交差点（飯田市）、立田町交差点（守山市）、
- 段差 7cm　子坂交差点(長井市)
- 段差 10cm　借宿交差点（軽井沢町）

各自治体の取り組み

吾妻町ラウンドアバウト（長野県飯田市）



交差点形状	5枝
外径	40.5m
環道幅員	5.0m(5.5)※
エプロン幅員	2.25m(2.75)※
中央島	24.0m
交通量	約10,000台/日

※路肩幅員を含む

昭和 22 年の大火により、焼け野原となった街の復興の際、防火帯として整備された緑豊かな並木通りに誕生した円形交差点です。吾妻町ロータリーと呼ばれ、桜並木とともに市民に親しまれてきました。

平成 22 年に（公財）国際交通安全学会と協働で、ラウンドアバウト実道社会実験を実施し、安全性の検証等を行いました。社会実験により得られた知見をもとに、より安全な交差点を目指して交差点改良を実施しました。

地元住民が主体となって、中央島などの植栽を手入れするなど、地域から愛される場所となっています。

令和 4 年に桜並木再整備に併せたラウンドアバウト改修工事を実施し、完成しました。

東和町ラウンドアバウト（長野県飯田市）



交差点形状	5枝
外径	30.0m
環道幅員	5.0m(5.5)※
エプロン幅員	2.5m(3.0)※
中央島	13.0m
交通量	約10,000台/日

※路肩幅員を含む

東和町交差点の改良方法については、平成 21 年度から関係機関及び地域と協議を行う中で、地域の望む５枝の機能を残す方法として、ラウンドアバウトを改良案の一つとして検討を行いました。

当時は、ラウンドアバウトに対する技術的知見などが不足していたため、やむを得ず 4 枝の信号交差点を計画しました。その後、吾妻町での社会実験の成果や、東日本大震災での経験から信号停電時にも機能する交差点として再認識されたことなど、関係機関の理解が進んだことから、ラウンドアバウトに変更し、平成 25 年３月に完成しました。

既存の信号機を撤去し、ラウンドアバウト化したのは全国初の試みとなりました。

山の手ラウンドアバウト（静岡県焼津市）



交差点形状	4枝
外径	27.0m
環道幅員	5.0m(5.5)※
エプロン幅員	2.0m(2.5)※
中央島	11.0m
交通量	約4,500台/日

※路肩幅員を含む

山の手環状交差点は、通勤時間帯を中心に交通量が多く、信号機のない見通しの良い交差点でしたが、交差する道路の幅員が同程度であるため、道路の優先関係がわかりにくく、出会い頭による人身事故がたびたび発生していました。

そのような中、自治会から交差点の安全対策の要望があり、検討した結果、信号機に頼らず交差点事故の抑止効果があるとされているラウンドアバウトの社会実験を実施し、安全性が確認されたことから、改正道路交通法の施行（平成 26 年９月１日）に合わせて本格運用を開始しました。

今後は、更なる通行方法の周知を図ると共に、ラウンドアバウトを活用した魅力的なまちづくりに取り組んでまいります。

お問い合わせ先
飯田市 建設部 地域計画課
TEL：0265-22-4511
E-mail：chiikikeikaku@city.iida.lg.jp

お問い合わせ先
焼津市 建設部 道路課
TEL：054-626-1121
E-mail：douro@city.yaizu.lg.jp

各自治体の取り組み

下藤ラウンドアバウト（静岡県焼津市）



交差点形状	4枝
外形	27.0m
環道幅員	4.5m（5.0）※
エプロン幅員	2.0m（2.5）※
中央島	12.0m
交通量	約3,500台/日

※路肩幅員を含む

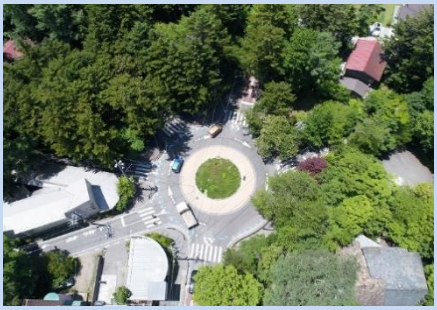
下藤環状交差点は、大井川港や水産加工団地等の物流拠点施設を往来する大型トラックのほか、朝晩を中心に交通量が多く渋滞が発生しており、また、見通しの良い直線道路のため、通行車両の速度が高くなる傾向が見受けられる状況でした。

このため、平成 28 年より地元と協議を行ない交差点事故抑止対策として、ラウンドアバウトの整備に着手し、令和２年３月 13 日に市内２箇所目となる交差点の運用を開始しました。

本交差点には、信号機がありましたが、ラウンドアバウトの整備により信号の待ち時間が解消され、円滑性が向上することや、走行速度の低下による重大事故の削減、また、災害等による停電時にも交通処理が可能となる等、その効果が大いに期待されるところであります。

お問い合わせ先
焼津市　建設部　道路課
TEL：054-626-1121
E-mail：douro@city.yaizu.lg.jp

六本辻ラウンドアバウト（長野県軽井沢町）



交差点形状	6枝
外径	27.0m
環道幅員	5.0m(5.5)※
エプロン幅員	2.5m(3.0)※
中央島	10.0m
交通量	約6,500台/日

※路肩幅員を含む

六本辻交差点は、観光名所や交通拠点を結ぶ、全国的にも珍しい六枝の無信号交差点であります。

通行方法が複雑であることから、繁忙期には渋滞、交通事故が多数発生し、交通管理の深刻な課題となっておりました。

課題解決のため、ラウンドアバウト導入を検討し、平成 24 年度に社会実験を行い、平成 26 年度より本格運用を開始しました。

社会実験および工事にあたっては、観光地であることから、通行方法の周知や工事時間帯の設定に苦労いたしました。

ラウンドアバウト運用後は、事故件数の大幅な減少、渋滞の緩和が確認され、安全性、快適性が向上しました。

また、景観的にも優れた交差点となっております。

お問い合わせ先
軽井沢町　地域整備課
TEL：0267-45-8582
E-mail：chiikiseibi@town.karuizawa.nagano.jp

借宿ラウンドアバウト（長野県軽井沢町）



交差点形状	3枝
外径	30.0m
環道幅員	5.0m(5.5)※
エプロン幅員	2.5m(3.0)※
中央島	13.0m
交通量	約3,600台/日

※路肩幅員を含む

当箇所は、交通量の多い国道と県道が近接していながら、両線の接続に適した道路がないため、生活道路である狭小な町道を通らなければ、両線を往来できない形状となっていました。このことから、狭小な町道の交通量が増加し、歩行者が危険にさらされるとともに、慢性的な渋滞が課題となっておりました。

その課題を解決するため、平成 23 年より、国道と県道を接続する道路として、町道借宿バイパス線の新設事業に着手しました。

その中で、国道へのオンランプ部において、交差点形状が複雑化することが懸念されたことから、ラウンドアバウトを採用しました。その結果、交差点形状が単純化され、安全な通行が可能となり、平成 30 年 12 月に供用開始しました。

各自治体の取り組み

栄（さかえ） ラウンドアバウト（愛知県一宮市）



交差点形状	4枝
外径	40.0m
環道幅員	4.4m(4.9)※
エプロン幅員	3.1m(3.6)※
中央島	23.0m
交通量	約9,000台/日

※路肩幅員を含む

栄環状交差点は、戦災復興土地区画整理事業により設置された交差点であり、尾張一宮駅から市役所へと続くシンボルロードの一部として整備されました。多くの方が行き交う場所にあり、また、一宮七夕まつりの会場としても古くから市民に親しまれていることから、本市中心部のランドマークとなっています。

平成 26 年９月１日の改正道路交通法の施行により、全国で最初に指定された 34 箇所の環状交差点のうちの１箇所であり、外径 40mは全国でも　有数の規模であります。

また、本市は南海トラフ地震の発生が危惧されている地域であることから、災害に強い社会基盤整備を進めることが重要であり、災害時にも有効なラウンドアバウトについて、発信と研究に努めてまいります。

――― お問い合わせ先 ―――
一宮市　建設部　道路課
TEL：0586-28-8640
E-mail：
douro@city.ichinomiya.lg.jp

立田町（たつたちょう）ラウンドアバウト(滋賀県守山市)



交差点形状	4枝
外径	27.0m
環道幅員	5.0m(5.5)※
エプロン幅員	1.5m(2.0)※
中央島	12.0m
交通量(ﾋﾟｰｸ時)	約700台/時

※路肩幅員を含む

立田町交差点は、周辺に畑地や田園が広がり、一般住宅や学校等が点在している無信号交差点です。

本交差点の交通安全対策として、ラウンドアバウトの適用を検討し、他市町の視察や社会実験の実施を経て、本格工事を行い、平成 27 年３月に完成しました。そして交差点の中央島には植栽とモニュメントを設置し、新たな市のランドマークとなりました。

また、道路利用者の多くから「車同士が鉢合わせする機会が減少し、安全性が高くなったことから交差点全体の印象も良くなった」との声を頂いています。

今後も、交通ルールの周知・徹底を図り、より一層安全なまちにしていきたいと思っています。

――― お問い合わせ先 ―――
守山市　建設部　道路河川課
TEL：077-582-1157
E-mail：
dorokasen@city.moriyama.lg.jp

子坂（こさか）ラウンドアバウト(山形県長井市)



交差点形状	4枝
外径	25.0m
環道幅員	4.5m(5.5)※
エプロン幅員	2.0m(2.5)※
中央島	9.0m
交通量	約1,500台/日

※路肩幅員を含む

本市は県南西部に位置し、特別豪雪地帯に指定されており、（平成 30 年時点で過去 10 年間の平均最大積雪深が 113ｃｍ）平成 28 年度国土交通省の社会実験に選定され、県内初の仮設ラウンドアバウトを設置し、同年 11 月より試験供用を開始しました。翌年度本格的な整備を行い、供用開始しています。

特徴は、除雪作業を考慮したエプロンの段差に特殊な形状のプレキャストブロックを採用しています。また、吹雪による視界の悪化等に配慮して中央島の視認性向上や、路面対策として流入部にグルービング工を採用しています。

今後もアンケート等を行い、ラウンドアバウトと交通ルールの周知を図ってまいります。

――― お問い合わせ先 ―――
長井市　建設課
TEL：0238-82-8018
E-mail：
kensetsu@city.nagai.lg.jp

各自治体の取り組み

大薮ラウンドアバウト（岐阜県多治見市）



交差点形状	4枝
外径	27.0m
環道幅員	5.0m(5.5)※
エプロン幅員	2.0m(2.5)※
中央島	11.0m
交通量	約4,000台/日

※路肩幅員を含む

大薮ラウンドアバウトは県内では3箇所目、東濃圏域では初のラウンドアバウトです。

当該交差点は、可児市境に位置する交差点です。郊外で見通しのよい直線道路であることからスピードが出やすく、比較的大きな事故がある場所でした。

平成30年度、速度抑制及び信号設置などの交差点改良要望が地域住民から出され、交通量、用地などの条件を考慮した結果、ラウンドアバウト交差点方式を採用、事業に着工しました。令和４年度に事業が完成、供用を開始しました。中央島をモザイクタイルで敷詰め、陶製モニュメントを設置することにより、多治見市らしさを強調しています。

若松町ラウンドアバウト（岐阜県多治見市）



交差点形状	4枝
外径	27.0m
環道幅員	5.0m(5.5)※
エプロン幅員	2.0m(2.5)※
中央島	11.0m
交通量	約10,000台/日

市内２箇所目となる若松町交差点は、国道からの通過車両や周辺店舗への進入車両と買い物客等の歩行者が交差する危険な交差点であり、交通安全向上を進める一施策として、交差点整備を行いました。

令和３年度の事故件数が18件であり、県内でも事故が多い交差点と認識されていました。しかし令和６年11月から供用を開始してからは大きな事故の発生はなく安全な交差点に生まれ変わりました。

中央島をモザイクタイル（土岐川の水色と、山々の緑を表現）で敷き詰め、多治見市らしさを強調しています。

駅西ラウンドアバウト（山形県村山市）



交差点形状	4枝
外径	33.0m
環道幅員	5.0m(5.5)※
エプロン幅員	2.5m(3.0)※
中央島	16.0m
交通量	約5,000台/日

※路肩幅員を含む

村山市は山形県の中央部に位置し、東西を山で囲まれ市の中央を最上川が流れる自然豊かなまちです。本市のラウンドアバウトは令和４年に供用開始となった東北中央自動車道村山ICと国道13号を結ぶアクセス道にあり、高速道路を降りた車は速度超過になりやすく交差点内の重大事故を防止するため県内２例目となるラウンドアバウトを採用しました。

供用開始となった令和２年11月15日以降、交差点内で大きな事故は発生しておらず導入効果があったと認識しております。

お問い合わせ先
多治見市 建設部 道路河川課
TEL：0572-22-1280
E-mail：douro@city.tajimi.lg.jp

お問い合わせ先
村山市 建設課
TEL：0237-55-2111
E-mail:
kensetsu@city.murayama.lg.jp

各自治体の取り組み

駅西第2ラウンドアバウト（山形県村山市）



交差点形状	4枝
外径	36.0m
環道幅員	5.0m(6.0)※
エプロン幅員	3.0m(3.5)※
中央島	17.0m
交通量	約4,000台/日

※路肩幅員を含む

最初に整備したラウンドアバウトから300m南側の交差点において村山市内２例目となるラウンドアバウトが令和６年 12 月１日に供用開始となりました。

当該交差点は信号がなく、多数の重軽傷事故が発生している村山市において最も危険な交差点の１つでした。

そのため、重大事故に大変効果のあったラウンドアバウト交差点方式を採用することとなりました。

最初のラウンドアバウトからの改善点として、エプロンの縁石を除雪車の排土板によって破損しにくい形状の物を採用し、さらに堆雪幅を前回より広くしたことで、冬季間の除雪に大変配慮した構造となっております。

お問い合わせ先
村山市 建設課
TEL：0237-55-2111
E-mail:
kensetsu@city.murayama.lg.jp

高見ラウンドアバウト（福岡県うきは市）



交差点形状	6枝
外径	40.0m
環道幅員	5.5m(6.0)※
エプロン幅員	2.5m(3.0)※
中央島	22.0m
交通量	約10,000台/日

※路肩幅員を含む

福岡県うきは市浮羽町高見に位置する高見交差点は、県道２路線と市道が交差する複雑な形状の６枝の交差点でした。また、右折渋滞の発生や歩道もない状況であったことから、交差点改良に関する地域からの強い要望があり、地域住民との協議を重ね、ラウンドアバウトを採用しました。その後、福岡県において、平成 28 年から交差点改良事業が進められ、令和７年３月に供用開始されました。

ラウンドアバウト導入後は、車両の流れがスムーズになり、渋滞もなく安全性が向上しています。

中央島にはこの地を通っていたかつての線路跡を表現しています。

お問い合わせ先
うきは市 建設課
TEL：0943-75-4987
E-mail:
koukyou@city.ukiha.lg.jp

天龍川町ラウンドアバウト（静岡県浜松市）



交差点形状	3枝
外径	28.0m
環道幅員	5.0m(5.5)※
エプロン幅員	1.5m(2.0)※
中央島	13.0m
交通量	約5,100台/日

※路肩幅員を含む

天龍川町ラウンドアバウトは、ＪＲ天竜川駅周辺整備事業に伴い誕生しました。整備前はＬ字の公道に乗降用ロータリーが取り付く交差点形状でしたが、３枝のラウンドアバウトとして生まれ変わりました。

交差点形状の検討では、通常の交差点に比べて車両同士が交錯するポイントを減らすことで出会い頭事故の削減が期待できることや交差点への進入速度や通過速度が抑えられることなど平面交差部における安全性向上が期待できるラウンドアバウトを採用することで、一般車両の乗降用ロータリーやタクシー及び障害者乗降場からの流出入による交通の複雑化という課題を解決でき、駅利用者や通過車両の安全性が確保され、利便性が向上しました

お問い合わせ先
浜松市 道路企画課
TEL：053-457-2232
E-mail: kotsuanzen@city.
hamamatsu.shizuoka.jp

各自治体の取り組み

岩屋三差路ラウンドアバウト（大分県津久見市）



交差点形状	3枝
外径	28.0m
環道幅員	5.5m(6.0m)※
エプロン幅員	3.0m※
中央島	10.0m
交通量	約4,000台/日

※路肩幅員を含む

津久見市では、市道岩屋線道路改良事業の一環として、令和７年７月７日に大分県内２例目、市町村管理道路では県内初となるラウンドアバウト（環状交差点）の供用を開始しました。

従来の岩屋三差路交差点は、見通しや道路線形に課題があり、通勤・通学時間帯の交通集中による安全対策が求められていました。そこで、交通事故の抑制や交通の円滑化、災害時にも機能を維持できるラウンドアバウトを採用しました。導入に当たっては、地域住民や道路利用者への説明会を重ね、多くの理解を得ながら整備を進め、安全で安心な交通環境の実現を目指しました。

供用日以降、交差点内で大きな事故もなく、一旦停止の待ち時間も無くなり、導入効果があったと認識しております。

――― お問い合わせ先 ―――
津久見市 土木管理課
TEL：0972-82-4116
E-mail:
morimoto-t@city.tsukumi.lg.jp

日本平ラウンドアバウト（静岡県静岡市）



交差点形状	4枝
外径	30.0m
環道幅員	5.0m(5.5)※
エプロン幅員	1.5m(2.0)※
中央島	12.0m
交通量	約2,000台/日

※路肩幅員を含む

日本平交差点は、国指定の名勝地「日本平」に整備されており、市内外から多くの方が訪れ、使用されている交差点です。

交差点形状においては、通常の交差点に比べて、直線区間の速度抑制や衝突事故の減少が期待されることから、導入を決定しました。

ラウンドアバウト導入後は、一般車両やタクシー、観光バス等の車両の流れが円滑になり、供用開始となった令和元年度以降、交差点内で大きな事故や渋滞は発生しておらず、導入の効果が発揮されていると認識しております。

今後も、ラウンドアバウトと交通ルールを周知及び徹底することで、交通安全を推進してまいります。

――― お問い合わせ先 ―――
静岡市 道路保全課
TEL：054-221-1284
E-mail:
dourohozen@city.shizuoka.lg.jp

ラウンドアバウトの整備を検討している自治体　※整備中の自治体を含む

長野県　飯田市

リニア中央新幹線長野県駅（仮称）が設置される飯田市では、リニア駅周辺整備基本構想に基づき座光寺ＰＡにスマートＩＣ設置計画を策定し、令和３年３月28日に供用を開始しました。現在、そこに接続する市道座光寺168号線に計画する交差点では、事故抑制を図るため、徐行進入となるラウンドアバウトを採用し、令和９年度完成を目標に道路改良事業を推進しています（図１）。

図１



図２　計画平面図



また、平成31年１月に開業した「産業振興と人材育成の拠点 エス・バード」の北側に位置する交差点は、視認性が悪く交通事故も多く発生しており、地元から安全対策の要望をいただいております。このため、交通事故の抑制を図るため、十字交差よりも車両交錯点が少ないラウンドアバウトを採用し、こちらも令和９年度完成を目標に事業を進めています（図２）。

お問い合わせ先：飯田市 建設部 地域計画課　TEL：0265-22-4511　E-mail：chiikikeikaku@city.iida.lg.jp

愛知県　一宮市

愛知県一宮市西部から岐阜県西濃地域へとつながる主要地方道にアクセスする幹線道路上に、信号機の設置されていない比較的規模の大きな交差点があります。この交差点では、近年交通事故が発生しており、地域からも「危険な交差点である」との声を聞いております。そのことから、この交差点での交通の安全性を確保するために、令和６年度より一宮市で２つ目となるラウンドアバウトの設置を検討を進めてまいりました。令和８年度の完成を目指し事業を進めているところです。



お問い合わせ先：一宮市 建設部 道路課　TEL：0586-28-8640　E-mail：douro@city.ichinomiya.lg.jp

長崎県 諫早市

諫早市は、長崎県内の交通の要衝として古くから発展し、県内随一の工業地帯や穀倉地帯を有するなど県央の拠点都市となっています。

右の写真は大規模新興住宅地と既存集落を連絡する信号の無い交差点です。この交差点では、過去に出会い頭の事故が数回発生し、重大事故の発生も懸念されていたため、令和７年２月より県内初となるラウンドアバウトの社会実験を開始しました。今年度は、安全性や円滑性の向上などの導入効果を検証し、本格設置や市域への波及・展開を検討してまいります。



お問い合わせ先：諫早市 道路課　TEL：0957-22-1500　E-mail：douro@city.isahaya.nagasaki.jp

ラウンドアバウトの整備を検討している自治体　※整備中の自治体を含む

長野県 軽井沢町

軽井沢町では、六本辻と借宿の２か所にラウンドアバウトを整備しました。六本辻ラウンドアバウトは、従来の変則６差路だった六本辻交差点を改良して設置したもので、借宿ラウンドアバウトは新設の町道と国道の接続部に設けたものです。令和８年度からは（仮称）治安の礎交差点のラウンドアバウト整備に向けた測量・設計を開始しており、令和 10 年度の供用開始を目指しています。当該交差点は碓氷軽井沢 IC へのアクセス道路として交通量が多いため、安全性の向上を目的に計画を進めています。並行して、町内の複数箇所でラウンドアバウト整備計画の策定も始めています。



お問い合わせ先：軽井沢町 地域整備課　TEL：0267-45-8582　E-mail：chiikiseibi@town.karuizawa.nagano.jp

ラウンドアバウトデータベースの Web 公開

日本におけるラウンドアバウトの導入実績を広く一般に知っていただくことを目的に、(公財) 国際交通安全学会の研究調査プロジェクト 2220「データベース整備に基づいた日本のラウンドアバウトの実態と事例情報の発信」の研究成果をもとにデータベースが作成され、Web 公開されています。下記 URL にて、国内の導入事例が閲覧可能となっていますので、是非ご覧ください。

・日本のラウンドアバウトデータベース

(https://www.iatss.or.jp/research/roundabout.html)

入会のご案内

全国ラウンドアバウト普及促進協議会では、関係省庁にラウンドアバウトに関する技術的支援や、整備に必要な予算措置などについて要望活動をおこなっています。また、定期的に研修会を開催しながらラウンドアバウトの整備事例や課題、有効性などについて情報を発信しています。

今後も、多くの自治体の皆さまに加盟していただき、より協議会を充実、活性化させていきたいと考えています。協議会の活動目的等をご理解いただきまして、ご入会についてご検討いただきますようよろしくお願いいたします。詳細につきましては、協議会事務局までお問合せください。



【令和 8 年度　定期総会】



【令和 8 年度　要望活動（国土交通省）】

協議会ホームページ：https://www.city.iida.lg.jp/site/roundabout/

全国ラウンドアバウト普及促進協議会　会員

山形県村山市	山形県長井市	長野県飯田市	長野県軽井沢町
岐阜県多治見市	静岡県静岡市	静岡県浜松市	静岡県富士宮市
静岡県磐田市	静岡県焼津市	静岡県袋井市	愛知県一宮市
滋賀県守山市	福岡県うきは市	長崎県諫早市	大分県津久見市

（市町村コード順）

※令和 8 年(2026 年) 9 月時点



©ランナバちゃん

事務局／守山市　道路河川課　道路係

〒524-8585　滋賀県守山市吉身二丁目５番２２号

TEL：077-582-1157　FAX：077-582-6947

E-mail：dorokasen@city.moriyama.lg.jp